

日本消化器病学会東海支部 女性医師の会アンケート調査

対象および方法

消化器病学会東海支部女性学会員50名

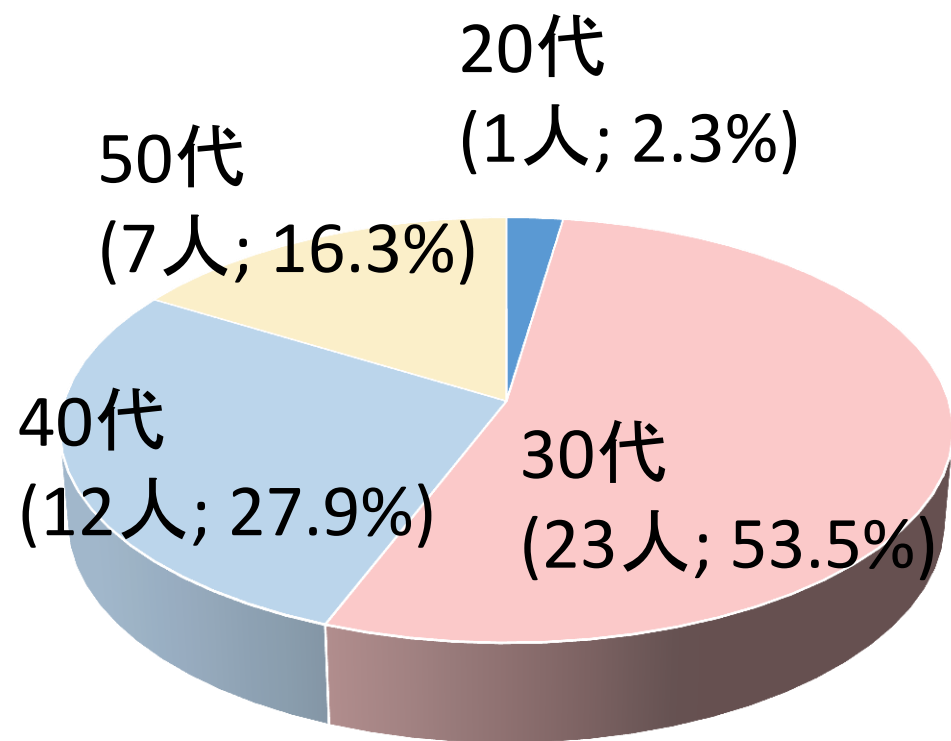
(消化器内科医44名、消化器外科医6名)

メールにて、アンケートを依頼し、回収された43名

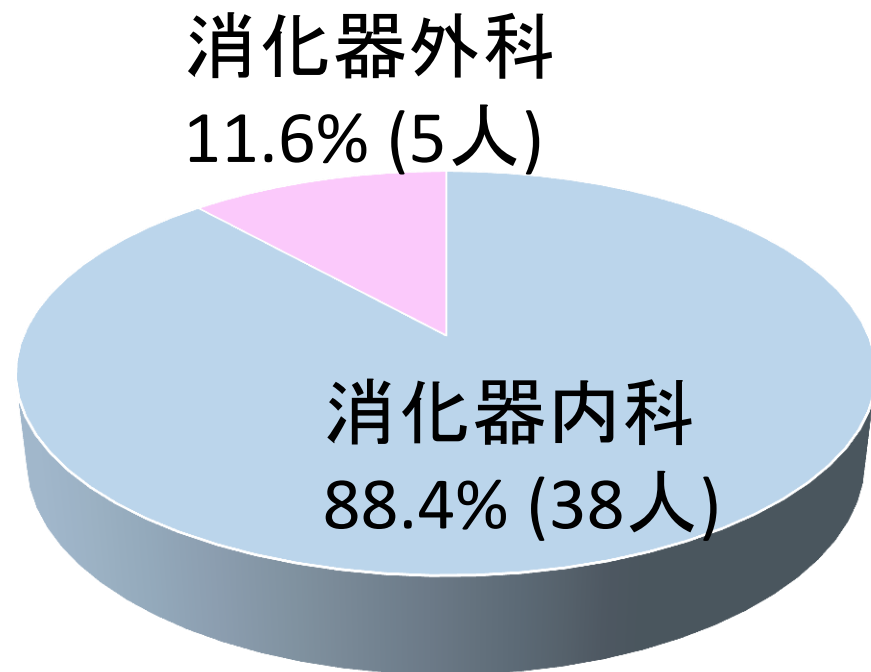
(回収率86%)

女性医師の会アンケート調査結果

①年代

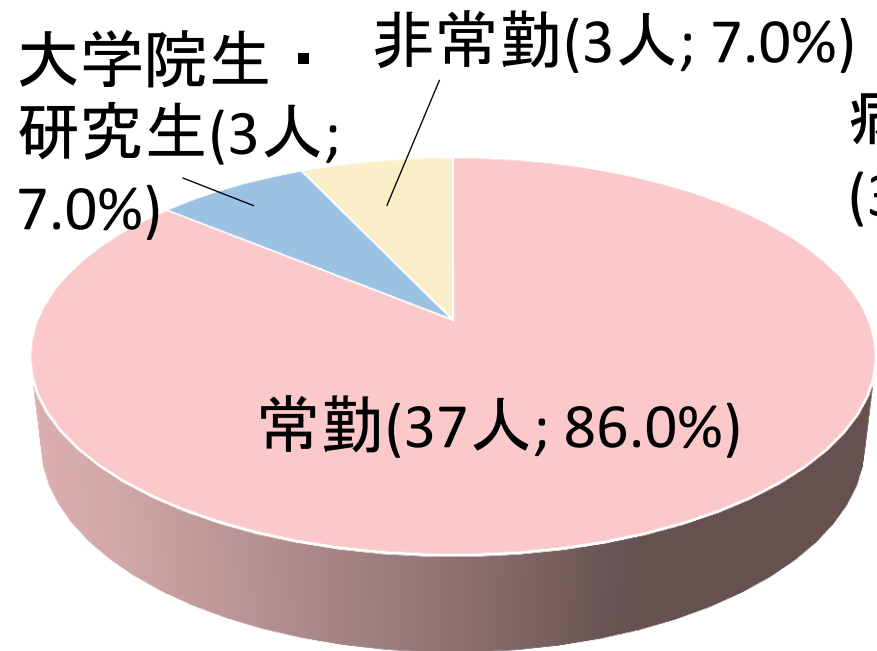


②主な診療分野



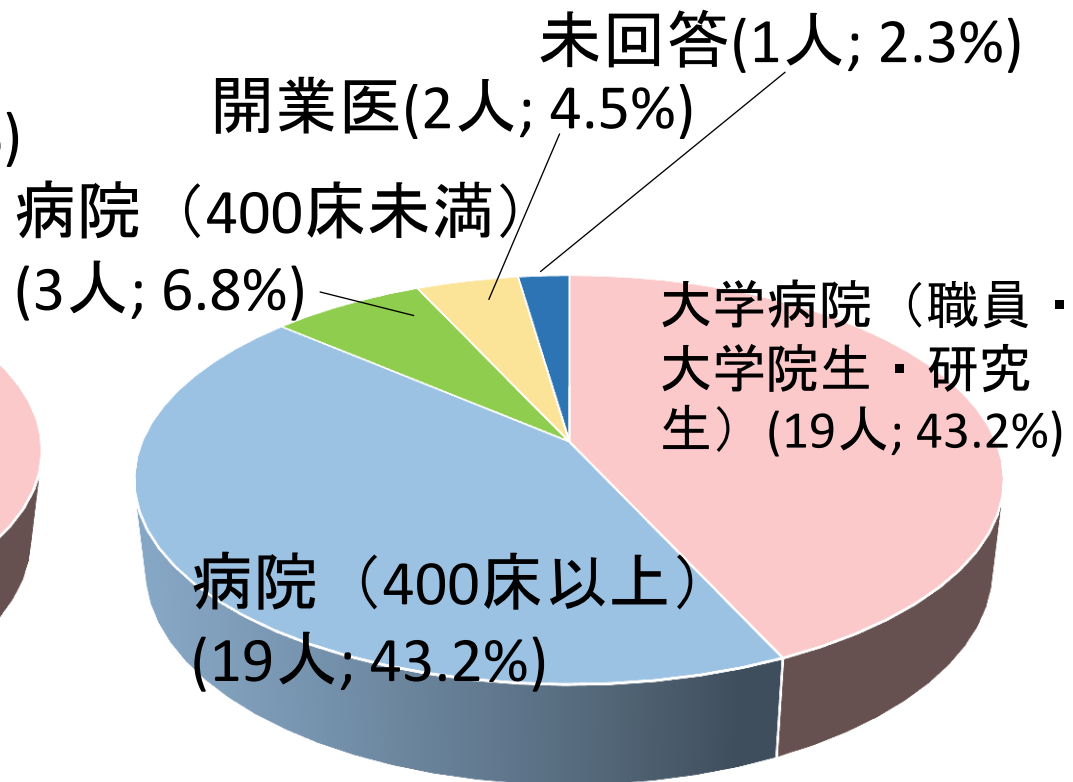
(全43人)

③勤務状況



④勤務先

(複数回答あり)

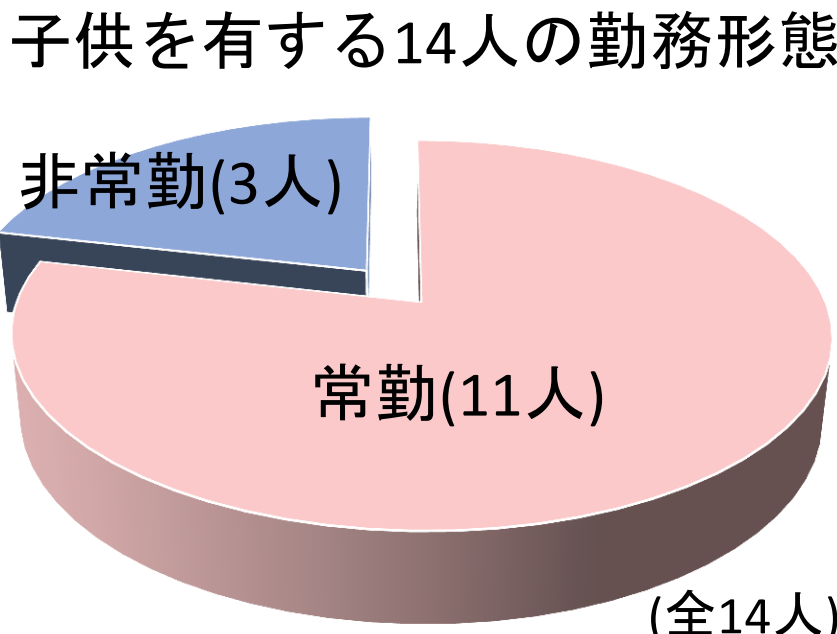
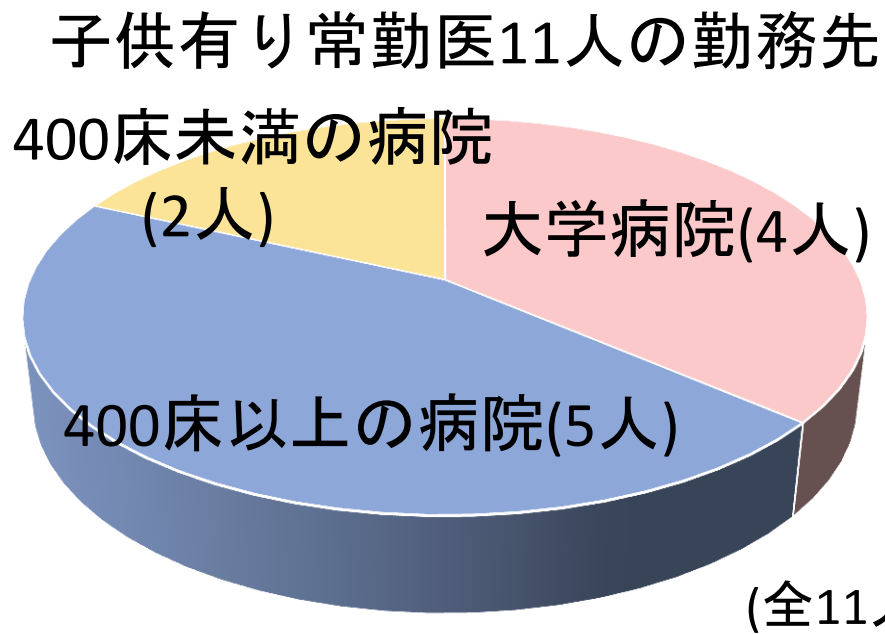
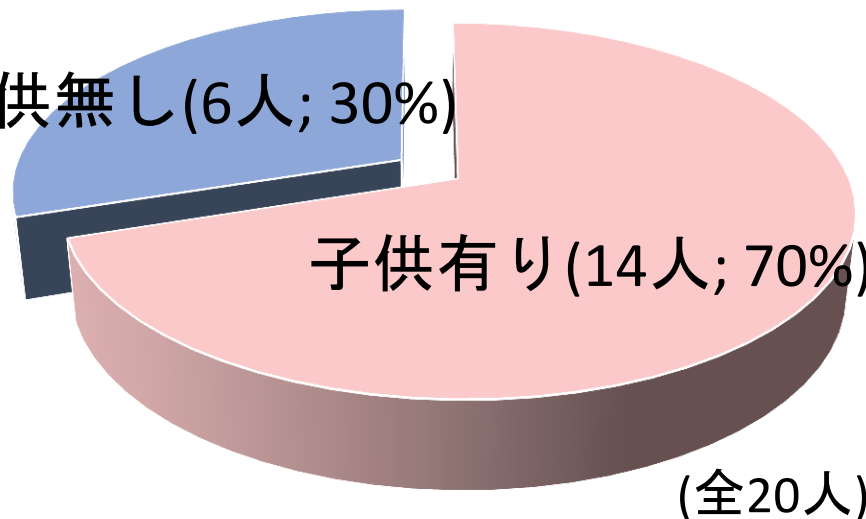
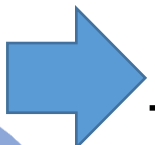
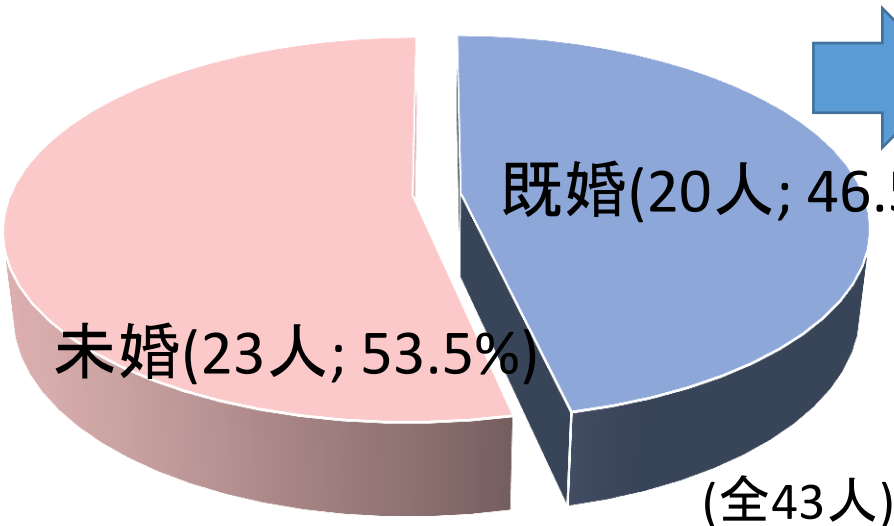


(全43人)

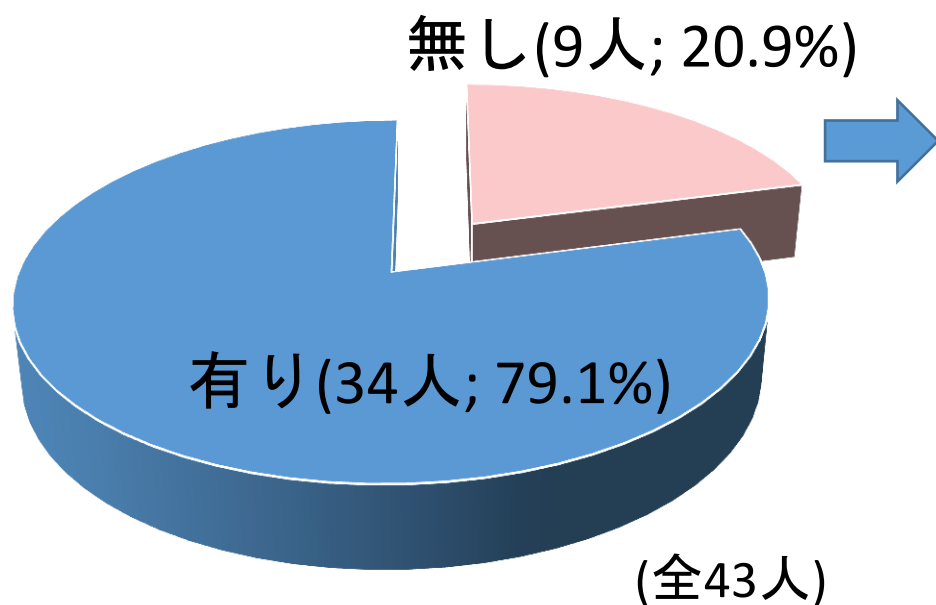
⑤非常勤の場合の勤務形態

- ウィークデーは大学病院での病棟業務。週2日半日ずつ他院の内科外来。
- 週4日勤務
- 月・水・木の週3回各半日勤務

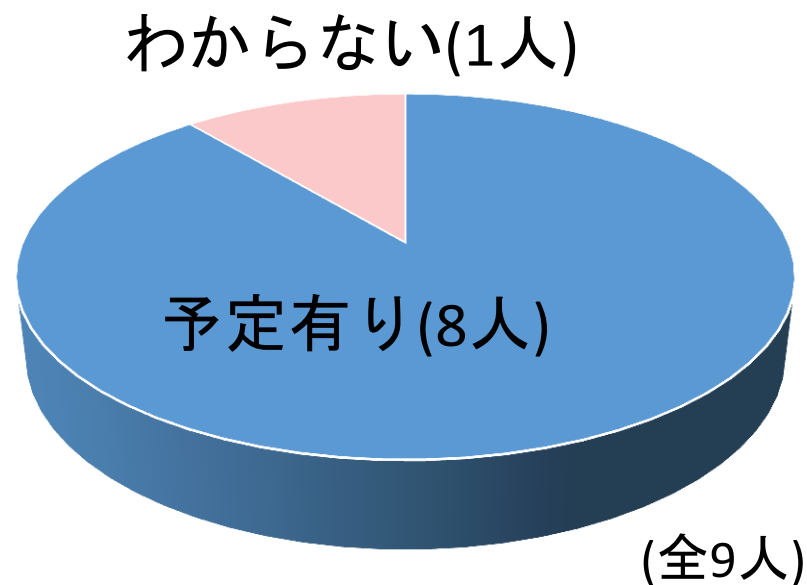
⑥ 家庭状況および子供の有無による勤務状況



⑦ 消化器専門医取得の有無



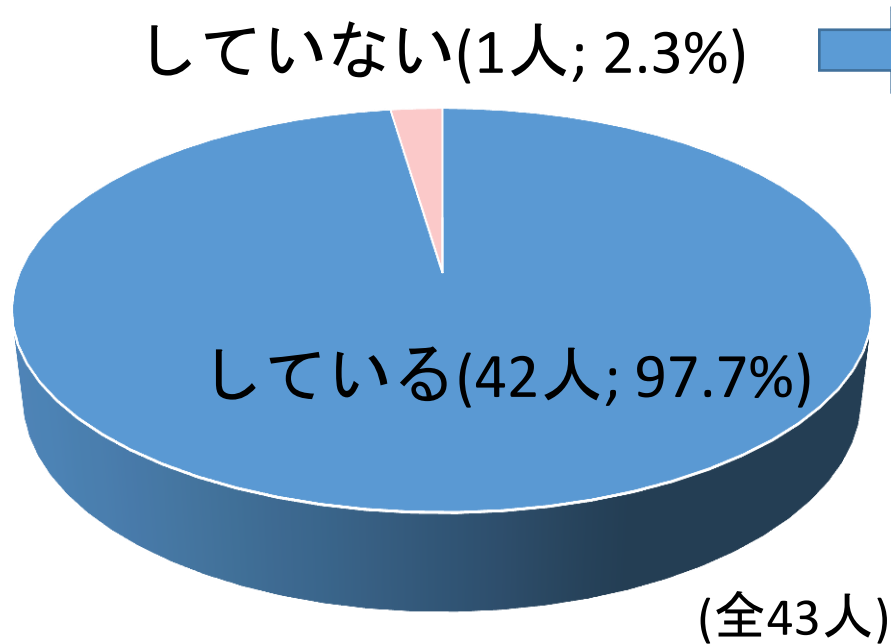
⑧ 消化器専門医取得の予定



⑨ 消化器専門医取得の取得予定がわからないと答えた理由

専門医制度の移行期間であり、認定維持の継続が不明であるため

⑩学会活動の参加・発表の有無



⑪学会活動に参加・発表していない理由

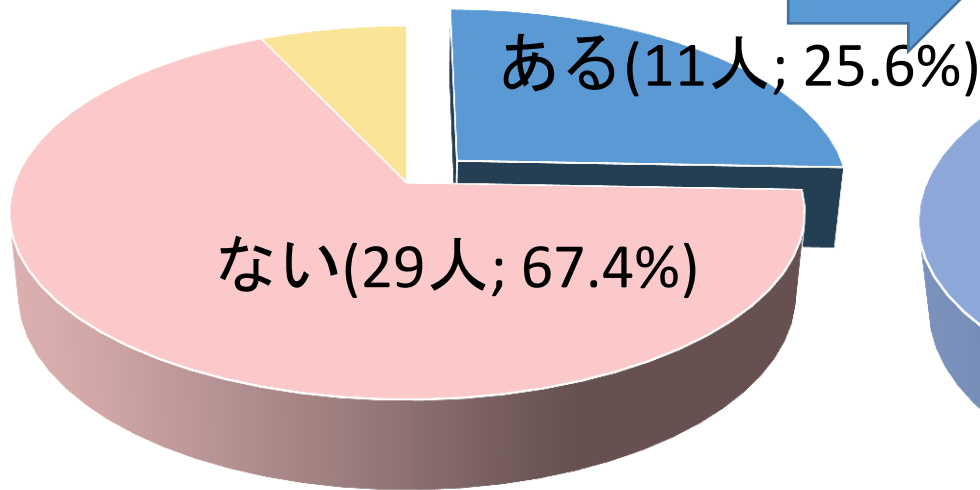
理由は、開業

(専門医は取得しているため、発表と勘違いされているかも)

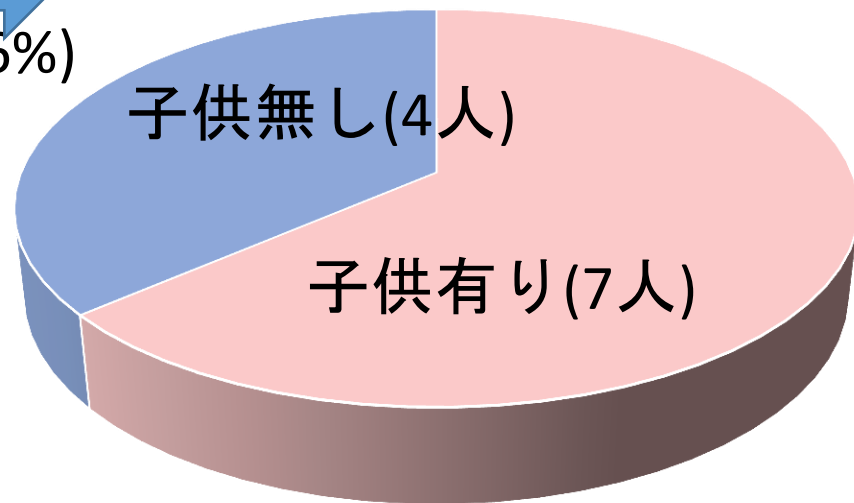
⑫ 消化器内科医としての勤務中に女性としての不利益を感じることはあるか？

⑬ 女性としての不利益を感じることはあると答えた人11人の子供の有無

未回答(3人; 7.0%)



(全43人)



(全11人)

⑭ 消化器内科医としての勤務中の女性としての不都合・不利益を感じる具体的事由

1. 妊娠・出産に関する不都合・不利益

- 放射線業務が妊娠期間の時期によっては担当しにくい。
- 妊娠、出産によって、消化器内科医としてのスキルアップができないのではと感じる。

2. 子育てに関する不都合・不利益

- 子供が小さいときは、夫の不在時の夜間緊急や患者の急変に対応が難しい。
- 子供の用事があっても休みを取りづらい。
- 出産育休開けでの夜間勉強会への不参加に対して、苦言を呈された。
- 子育て中の学会活動においては、発表の準備や勉強する時間が全く取れず、学会参加は難しい。

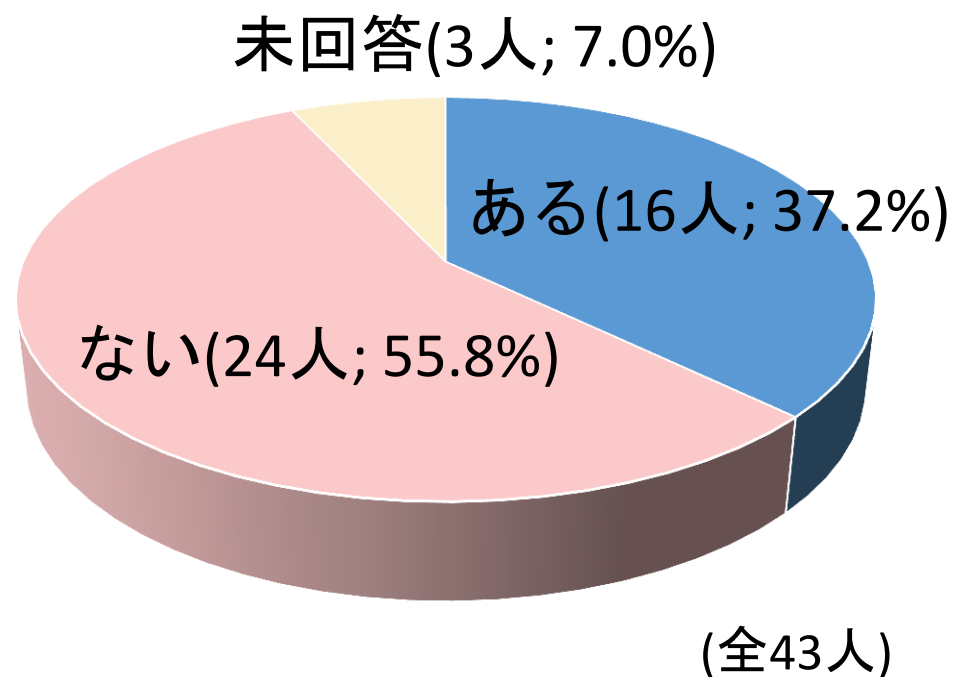
3. 女性の身体面に関する不都合・不利益

- 手の大きさが小さく、内視鏡の操作性が悪く、また体力面で男性医師にはかなわない。
- 月経など、女性特有の体調不良時に長時間労働が困難であると感じる。
- 女性消化器医師が少ないため、妊娠、子育て中の働き方を相談できない。

4. その他の不都合・不利益

- 人事異動やスキルアップの症例研修は男性が優先され、女性は健診業務などに回される。
- 女性が仕事を続けるためには、周囲への配慮が必要であるが、周囲の考え方にも左右されるように感じる。

⑮将来、消化器内科医として働き続けることに不安があるか？



⑩将来、消化器内科医として働き続けることに対し、不安を感じる理由

- 結婚のタイミングや出産のタイミング、家庭と仕事との両立などに不安を覚え、常勤勤務が継続できるかどうか不安がある。
- 出産後に保育園に入所できるか不安。
- 早期に出産・子育てしたため、スキルに乏しく、消化器専門医として働き続けることができるのか不安を感じる。
- 育児をしながら仕事をしている周囲の女性医師はほとんど非常勤医で、自分は今は常勤医だが、帰局もしておらず、この先のキャリアパスがみえない。育児でブランクや仕事に制約がある女性医師の将来像が見えず不安を感じる。
- 子育てに関しての理解があり、現在の病院の周囲とは良好の関係であるが、転勤後の関係が不安。
- 緊急呼び出しを受けた後の体力低下を自覚し、男性医師と同条件での待機が難しいと感じている。
- 将来的に親の介護との両立の不安がある。

⑰ 消化器病東海支部女性医師の会に対しての要望

- 学会においての託児所の必要性→
すでに設けてありますが、前回の例会では利用がありませんでした。今回は初めて3名依頼があったそうです。
- 個々人の働き方の多様性があるため、進路に迷っている女性若手医師に消化器内科をどのように勧めたらよいのか困る。
- 女性消化器科医が出産・育児とキャリアを両立できるような環境づくりのサポート（出産育休後の技術の再教育含む）や若い女性消化器医育成の配慮。